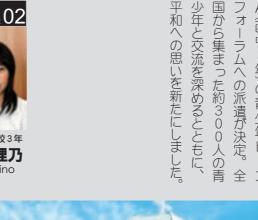
## 次世代へ 特集 つなぐ 平和への思い

### 青少年ピースフォーラム

### に中学生3人を派遣

市では、平成元年に平和都市

少年と交流を深めるとともに、 国から集まった約300人の青 フォーラムへの派遣が決定。全 ん(西中3年)の青少年ピー さん(双葉中3年)・井藤亜美さ 沙耶さん(東中3年)・朝日理乃 から参加者を募集した結果、 を平成16年度から行っています。 和事業の一環として、 被爆地(長崎市)に派遣する事業 宣言を行いました。そして、平 今年度の派遣について中学校 中学生を 林





いました。

りと分かる人間になりたいと思 らわたしは、人の痛みがしっか 「人の痛みが分かるということ」

吉田さんは、平和の原点は

とおっしゃっていました。だか

きいのだと感じました。

原爆が及ぼした影響はとても大

生き残った人も後遺症や差別に

よってつらい思いをしていて、

9日の式典では、国籍に関係

和への強い思いを持っていまし ています。 ちが「微力だけど無力じゃない」 年くらいのボランティアの人た た。長崎市では、わたしと同い なくたくさんの人が参加し、平 という言葉を大切にして活動し

ければならないと思いました。 強い気持ちに応えられるように、 戦争や核兵器の恐ろしさを理解 し、平和の尊さを伝えていかな わたしはこういった人たちの 広げていきたいと思います。



朝日理乃

わたしにできること

参加して深く考えさせられまし か」、青少年ピースフォーラムに わたしには何ができるのだろう 「平和でいられるために、今、

痛みが分かるから<br />
こそ争いがな の痛みが分かる心を持つよう と思いました。 に」とおっしゃいました。 被爆体験者の吉田さんは、「人 平和な世界でいられるのだ 人の



同報無線で流している鐘です)

4 他県の生徒との交流会

井藤亜美 Ito Ami

わたしたちにできること 63年前に落とされた原爆。

強く心に思いました。

訴えていかなければならないと が次の世代に平和と命の尊さを 時、今度はわたしたち若い世代

みんなが笑顔で生活できる日が

世界から核や戦争がなくなり

悲惨さ、そして大切な人たちを 被爆者の吉田さんという方から お話を伺い、原爆の恐ろしさや ははかりしれません。 たった一つの原爆が奪ったもの 今回のピースフォーラムで、

分かりました。 きました。原爆は命を奪うだけ ただれた顔のため、世間の冷た で大きく変えてしまうものだと でなく、生き延びた人の人生ま い目にさらされ辛い思いをして 口くした悲しみを知りました。 また、吉田さんは被爆で焼け

「泣いても笑っても元の体に

は戻らない。被爆して生き延び

たわたしには、 平和や命の尊さ

### ■平和記念像

か。 争の犠牲者のためにわたしたち ができることではないでしょう 来るように。それが、原爆や戦 上空を指す右手は原爆の脅威、水平 に伸びた左手は世界の平和、軽く閉 じられたまぶたは原爆犠牲者の冥 福を祈っているといわれています。

# 吉田さんのこの言葉を聞いた

私たちすべての市民は、全人類共通の願いであ

この願いを込めて、世界のすべての人々との交 流をすすめ、相互理解を深め、世界の平和を訴え るものである。 (平成元年3月25日制定)

### 【平和都市宣言】

を伝える義務がある」

る核兵器廃絶が一日も早く実現され、戦争のない 恒久平和が達成されることを心から希求する。



東中学校3年 **林 沙耶** Hayashi Saya

が来ることを願っています。 日でも早く世界から核兵器がな さんの人に理解してもらい、 だけだということをもっとたく あっても人々を傷つけ苦しめる 伝えていくことです。 戦争や原爆の恐ろしさを後世へ 長崎での貴重な体験を生かし、 くなり、平和な世の中になる日 わたしたちの使命は、今回の 核兵器が

原爆で亡くなった人も苦しみ、 典へ参列したりしました。 爆建造物を見たり、平和祈念式 被爆者の方の話を聞いたり、 被爆者の吉田さんの話の中で 青少年ピースフォーラムでは、 忘れるな